

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	看護小規模多機能型居宅介護びりーぶ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(直接的な支援の提供) 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	半年に1回、または問題点が発生した時は、看護・リハビリ・介護の各担当者と支援計画に沿って話し合い、改善へつなげている。	利用者の成長に合わせた関わりを常に考え、スタッフと意見交換を行い実践していく。
2	(保護者への説明等) 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	定期的なモニタリングや訪問看護利用日に家族の生活への影響がないか把握し、必要時の支援へつなげている。	家族の事業等や体調不良時等は、共生型サービスを利用してもらい、在宅生活が継続できるように支援する。
3	(非常時等の対応) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	虐待防止委員会の設置と、年1回以上定期開催を行っている。身体的拘束等のための対策を検討する委員会を3月に1回以上開催している。また、職員の研修も必ず実施している。	2ヶ月に1回行っている運営推進会議で、地域の民生委員・老人会・家族代表等へ、身体的拘束を含む虐待状況の報告を継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(適切な支援の提供) 放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	呼吸器使用等の重度障害児が利用している為、地域の子どもクラブの方におみこしなどの行事に来て頂いているが、利用日と行事の日が合わない。	地域の年間行事は分かっているので、子供クラブの担当者と話し合い、日時調整を行っていく。
2	(保護者への説明等) 年に1回、利用者家族・きょうだい児を招いてバーベキュー会を行い交流の機会はあるが、共生型の保護者会は開催は少ない。	保護者と地域の交流は定期的には開催していない。	共生型の家族もできるだけ、2ヶ月に1回の運営会議に参加を呼び掛ける。
3	(非常時等の対応) 事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応・災害等の訓練は実施しているが、保護者はどのように対応されているかイメージがつかない。	防犯・感染対応・災害等の訓練は定期的に行い、年に4回保護者へ「びりーぶだより」で報告するようにしているが、実際に見てもらっていないため、イメージが難しいようだ。	呼吸器等を使用している利用者の災害訓練に行政も一緒に行っているため、参加をしていく。 訓練の日は、保護者に声をかけ希望者には参加してもらう。